

瀬戸内国際芸術祭実行委員会第31回総会
議案書

令和5年5月18日(木)

【報告事項】

令和4年度事業報告及び補正予算について

1 令和4年度事業報告

(1) 瀬戸内国際芸術祭 2022 の開催

① 開催概要

ア 会期 春：2022年4月14日（木）～5月18日（水）
夏：2022年8月5日（金）～9月4日（日）
秋：2022年9月29日（木）～11月6日（日） 計 105 日間

イ 会場 直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、沙弥島（春）、
本島（秋）、高見島（秋）、栗島（秋）、伊吹島（秋）、
高松港周辺、宇野港周辺

② アートプロジェクト・イベント

33の国と地域から188組のアーティストが参加し、213作品、19イベントを展開した。

「瀬戸内の里海・里山の隠れた資源の発掘と発信」という観点から、寒霞渓や屋形崎、与島、多度津町本通、屋島など、様々なエリアで地域の自然や歴史、文化等に着目した作品やイベントを展開した。

③ 来場者数

来場者数は、春会期が228,133人、夏会期が187,483人、秋会期が307,700人で、総来場者数は723,316人となった。

イベントへの来場者数は8,125人となった。

④ 交通の整備

ア 海上交通

来場者の交通アクセスの向上を図るため、各事業者により既存航路の増便や臨時航路の開設が行われたほか、旅客船の混雑緩和を図るため、「フェリー6航路限定3日間乗り放題乗船券」を発行した。

高松港や会場となる島の港では、案内誘導看板の設置や案内スタッフの配置等により、乗船者の円滑な誘導・混雑緩和を図った。

イ 島内交通

島内での来場者の移動手段の確保や住民生活への影響緩和の観点から、各事業者による島内バス路線の新設・増便の対応が行われた。

⑤ 新型コロナウイルス感染症対策

2022年3月に策定した「瀬戸内国際芸術祭2022新型コロナウイルス感染症対策の指針」に沿って、飛沫の抑制や手洗い・消毒、換気、密集の回避等の基本的な感染対策のほか、検温及び体調確認、有症状者の発生時の対応など、島毎の実情に応じた対策を適切に行った。

⑥ 来場者対応

高松港に総合案内所を設置するとともに、各会場の港などに計 26 か所の案内所を設置し、チケット等の販売や作品、イベント、交通等の案内を行った。また、芸術祭実行委員会事務局内に案内所本部を設置し、多言語対応のコールセンターとして、電話やメールによる問い合わせに対応した。

経路検索等が可能な公式アプリケーションを無料で公開した。

全ての案内所に加え、主要な作品や航路の船内にも無料の Wi-Fi スポットを整備した。

⑦ オフィシャルツアー

チャーター船やチャーターバス等を利用し、ガイド付きで芸術祭の新規作品の鑑賞等を行う 11 コースのベーシックツアーを実施した。(これまでの香川発着に加え、岡山発着のコースを新設した。)

スペシャルツアーとして、芸術祭の公式イベントに参加するツアーや特別なテーマに沿って行うツアーを実施した。

⑧ ボランティアサポーター

アーティストと地域をつなぎ、作品と来場者を結ぶ役割を果たす瀬戸内国際芸術祭のボランティアサポーター「こえび隊」や、香川県内の企業を中心とした団体を対象とした「企業・団体ボランティアサポーター」を募集し、県内外から多くの参加・協力があった。

⑨ 広報

県内外の大型商業施設や高速道路のサービスエリア等において、パネル展示やチラシの配付、プロモーション動画の放映など各種プロモーション活動を実施した。

ポスター、リーフレット、公式ガイドブックなど各種広報物を制作したほか、新聞や交通機関等での広告掲載を行った。

報道関係者向けのプレスツアーの実施や、各種視察の受入れ、公式ウェブサイトや SNS を活用したタイムリーな情報発信などを行った。

⑩ チケット・グッズ

会期中、芸術祭の作品を鑑賞できる「作品鑑賞パスポート」等を制作し、案内所やコンビニ、プレイガイド等で販売した。また、新たにチケットアプリ（瀬戸芸デジパス）を開発・導入し、スタンプラリー等の機能も有した「デジタルパスポート」を販売した。

芸術祭のオフィシャルグッズを制作し、公式ショップ等で販売した。

(2) ART SETOUCHI の運営

芸術祭閉幕後に残る作品（継続作品）を有効活用し、引き続き地域の活性化を図るために、一部作品の継続公開を行った。

また、豊島の「島のお誕生会」を閉幕後も継続して実施した。

2 令和4年度補正予算

(1) 瀬戸内国際芸術祭開催事業費

◎ 収入

(単位:千円)

区 分	現計予算額	補正後予算額	増減額	備 考
負 担 金	389,523	387,190	△ 2,333	
香川県	135,883	134,793	△ 1,090	
高松市	67,947	67,401	△ 546	
丸亀市	10,060	9,978	△ 82	
坂出市	10,060	9,978	△ 82	
観音寺市	10,060	9,978	△ 82	
三豊市	10,060	9,978	△ 82	新型コロナウイルス感染症対策事業費の減に伴う減
土庄町	10,060	9,978	△ 82	
小豆島町	10,060	9,978	△ 82	
直島町	10,060	9,978	△ 82	
多度津町	4,776	4,735	△ 41	
玉野市	10,060	9,978	△ 82	
福武財団	100,437	100,437	-	
補助金・助成金	65,115	84,921	19,806	国庫補助金の増額見込に伴う増
寄付金・協賛金	57,850	101,096	43,246	協賛金の増
チケット等販売収入	153,348	136,147	△ 17,201	チケット販売数の減に伴う減
その他	10,395	58,630	48,235	事業費戻入に伴う増
前年度繰越金	366,095	445,563	79,468	R3年度決算額の確定に伴う増
計	1,042,326	①1,213,547	171,221	

◎ 支出

(単位:千円)

区 分	現計予算額	補正後予算額	増減額	備 考
アートプロジェクト費	455,218	479,680	24,462	
作品制作費等	415,343	447,302	31,959	R3年度繰越執行分含む
イベント運営費	39,875	32,378	△ 7,497	
運営活動費	516,971	431,307	△ 85,664	
広報活動費	67,883	72,309	4,426	R3年度繰越執行分含む
交通対策費	29,116	29,784	668	
会場運営費等	410,272	319,514	△ 90,758	警備、コロナ対策費等の減
事務局運営費	9,700	9,700	-	
チケット・グッズ等制作費	42,501	28,137	△ 14,364	チケット印刷費等の減
予備費	10,000	-	△ 10,000	
ART SETOUCHI運営費への繰越金	17,636	15,016	△ 2,620	
計	1,042,326	② 954,140	△ 88,186	

◎ 令和4年度収支差額

収支差額(①-②)

259,407 千円

(翌年度事業費へ繰越)

(2) ART SETOUCHI 運営費

◎ 収入

(単位:千円)

区 分	現計予算額	補正後予算額	増減額	備 考
補助金・助成金	330	400	70	
チケット・グッズ等販売収入	36	36	-	
芸術祭開催事業費からの繰入金	17,636	15,016	△ 2,620	
計	18,002	① 15,452	△ 2,550	

◎ 支出

(単位:千円)

区 分	現計予算額	補正後予算額	増減額	備 考
作品継続費	4,703	6,960	2,257	
作品管理費	3,500	3,500	-	
イベント開催費等	1,203	3,460	2,257	
運営活動費	12,299	8,492	△ 3,807	
広報活動費	920	-	△ 920	
会場運営費等	10,879	7,992	△ 2,887	
事務局運営費	500	500	-	
予備費	1,000	-	△ 1,000	
計	18,002	② 15,452	△ 2,550	

◎ 令和4年度収支差額

収支差額(①-②)

0 千円

(参考) 瀬戸内国際芸術祭 2022 開催事業費 3 か年 (令和 2 ~ 4 年度) 収支決算見込み

(1) 収 入

(単位：百万円)

区分	令和 2 年度 決算額	令和 3 年度 決算額	令和 4 年度 補正予算額	3 か年収入 見込額計
負担金	25	312	387	724
香川県	10	100	135	245
関係市町	15	112	152	279
福武財団	0	100	100	200
補助金・助成金	14	32	85	131
寄付金・協賛金	4	126	101	231
チケット・グッズ等販売収入	0	3	136	139
その他	1	3	58	62
小計	44	476	767	1,287
前年度繰越金	272	227	446	272
収入 計	316	703	1,213	① 1,559

(2) 支 出

(単位：百万円)

区分	令和 2 年度 決算額	令和 3 年度 決算額	令和 4 年度 補正予算額	3 か年支出 見込額計
アートプロジェクト費	20	109	480	609
作品制作・イベント費等	20	108	447	575
式典等開催費	0	1	33	34
運営活動費	16	69	431	516
広報活動費	11	44	72	127
交通対策費	0	0	30	30
会場等運営費	1	18	319	338
事務局運営費	4	7	10	21
チケット・グッズ関係費	0	26	28	54
ART SETOUCHI運営費への繰出金	53	53	15	121
支出 計	89	257	954	② 1,300

(3) 3 か年収支差額 (見込)

(単位：百万円)

収入 ①	1,559
支出 ②	1,300
収支差額 (①-②)	259

【第1号議案】

専決処分事項の承認について

瀬戸内国際芸術祭実行委員会会則第14条の規定により、次のとおり専決処分したことを報告し、その承認を求める。

記

1 瀬戸内国際芸術祭 2022 新型コロナウイルス感染症対策の指針の一部改正について

令和4年7月25日に、瀬戸内国際芸術祭 2022 新型コロナウイルス感染症対策の指針について、別紙1のとおり一部改正を行った。

2 瀬戸内国際芸術祭実行委員会会則の一部改正について

令和4年12月12日に、瀬戸内国際芸術祭実行委員会会則の別表（第4条関係）の委員について、別紙2のとおり一部改正を行った。

瀬戸内国際芸術祭 2022 新型コロナウイルス感染症対策の指針（令和 4 年 3 月 3 日策定）の一部を次のように改正する。
次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後		改正前	
1 基本的な感染対策について 略		1 基本的な感染対策について 国の感染防止策チェックリストの内容等を踏まえ、基本的な感染対策として、次の対策を実施します。	
(1) 基本的な対策（共通事項）		(1) 基本的な対策（共通事項）	
項目	対 策	項目	対 策
飛沫の抑制の徹底	略	飛沫の抑制の徹底	略
手洗、手指・施設消毒の徹底	略	手洗、手指・施設消毒の徹底	略
換気の徹底	・ <u>機械換気による常時換気又は窓開け換気を行う。</u>	換気の徹底	・ <u>空調設備による常時換気又はこまめな換気（1 時間に 2 回以上・1 回に 5 分間以上等）を徹底する。</u>
来場者間の密集回避	略	来場者間の密集回避	略
飲食の制限	略	飲食の制限	略
来場者の制限等	略	来場者の制限等	略
スタッフの感染対策等	略	スタッフの感染対策等	略

瀬戸内国際芸術祭実行委員会会則（平成 20 年 4 月 25 日策定）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後		改正前	
別表（第 4 条関係）		別表（第 4 条関係）	
区分	役職名	区分	役職名
委員	略	委員	略
	<u>（公財）福武財団名誉理事長</u>		<u>（公財）福武財団理事長</u>
	略		略
オブザーバー	略	オブザーバー	略

附 則

- この会則は、令和 5 年 1 月 1 日から施行する。

【第2号議案】

令和4年度収支決算の認定に関する権限の委任について

瀬戸内国際芸術祭実行委員会の令和4年度収支決算の認定に関する権限を、本部会議に委任する。

【第3号議案】

次回瀬戸内国際芸術祭の開催について

これまで5回の芸術祭の開催で得られた貴重な経験やつながりを生かして、瀬戸内の島々の活性化、ひいては地域全体の一層の発展につなげていくため、6回目となる瀬戸内国際芸術祭を2025年に開催する。

令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

1 令和5年度事業計画（案）

(1) 瀬戸内国際芸術祭 2025 開催へ向けた準備

芸術祭 2025 の開催に向け、事業の取組みに関する方針の策定、アートプロジェクトの準備、受入態勢の検討などの諸準備を行うとともに、広報やサポーター獲得に向けた活動などに取り組む。

① 取組方針（仮称）の作成

アートプロジェクトやイベントの展開方針、来場者の受入態勢、広報活動、ボランティア運営など、各事業の実施概要等を定めた取組方針（仮称）を作成する。

② アートプロジェクト・イベントの準備

ア アーティストの選定及び作品の制作

会場ごとの展開方針に従って参加作家の選考を行い、作品の制作準備を行う。また、より地域に密着した作品制作ができるよう、作家による現地調査などを実施する。

イ 作品公募の実施

より広く多角的に参加作家を選定するため、作品公募を実施する。

③ 人材育成事業

芸術祭の開催趣旨や瀬戸内の歴史、文化、民俗等を学ぶ講座や現地研修等を実施し、県内で活動する若手芸術家等の発想力や表現力のレベルアップを図る。また、県内で後進の指導・育成に携わってもらい、人材育成の好循環を目指す。

④ 広報

芸術祭 2025 に向けて、SNS等を活用して、芸術祭のイメージを広く発信する。

芸術祭の開催趣旨やこれまでの成果等について広く国内外に発信するため、アーカイブの整理も進めながら、パブリシティを中心としたプロモーション活動等を行う。

⑤ 交通の整備

ア 海上交通

会場の島々へのスムーズな移動の実現や輸送力の確保に向け、既存航路の増便や臨時航路の開設について関係事業者等と協議調整を行う。また、来場者が集中しやすい時期の臨時便運航についても協議調整を行う。

イ 島内対策

島内バスの効率的な運行ルートやダイヤ設定を随時検討し、必要な輸送力を確保できるよう、地元市町等と連携して準備を進める。

⑥ 来場者対応

会期中の受入環境の向上を図るため、来場者の周遊を現地でサポートする案内所の設置について、最適な場所や効率的な人員配置等を検討し、関係市町や事業者等との協議を進める。

⑦ ボランティアサポーター

特定非営利活動法人瀬戸内こえびネットワークと連携し、ウェブサイトや勉強会等を通じてボランティアサポーター「こえび隊」の募集活動を行う。

また、地元でのサポーターづくりのために、様々な層への説明会を実施するとともに、香川県・岡山県の主要企業や大学等に向けて、ボランティア参加の働きかけを行う。

⑧ チケット、グッズ

過去の芸術祭でのチケットやオフィシャルグッズの販売傾向等を分析し、芸術祭 2025 に向けた制度設計を行う。オフィシャルグッズについては、販売実績や市場の動向等を分析し、来場者のニーズに応じた魅力的な商品の開発を進める。

⑨ 寄付・協賛等

芸術祭の趣旨に賛同し、協力連携関係を築くことのできる「瀬戸内国際芸術祭 パートナー企業」の獲得やこれまで協賛いただいた企業・団体との関係性継続に努めるとともに、県内外の企業・団体等に対して寄付・協賛の依頼を行う。

また、芸術祭を開催する目的や地域に起こった変化について理解を深めてもらい、企業・団体による地域活性化に向けた継続的な取り組みにつなげられるよう、企業・団体を対象としたフォーラム等を実施する。

(2) 継続作品の運営等

過去の芸術祭作品を有効活用し、芸術祭の開催年以外の年においても、会場の島々を訪れてもらえるよう、継続作品の公開や芸術祭 2025 につながるようなイベント、アーティストのワークショップ等を実施する。

① 継続作品の公開運営

芸術祭 2022 の作品の一部を継続作品として公開する。

屋外作品については、原則、常時鑑賞可能とし、屋内作品については、多くの来場が見込まれる時期を中心に公開する。

※ 作品の仕様や設置状況等により、上記の公開方針に沿わない作品は個別に検討

② 継続作品の維持管理

芸術祭の会場におけるアート資源の集積を図るため、継続作品の維持管理等を適切に行う。

③ イベント等の実施

ア アートイベント

アーティストを交え、地域の祭りや行事、作品の公開等と連動させながら、ワークショップや音楽など魅力あるイベントを開催する。

開催するイベントは、芸術祭 2025 も見据えながら、これまでの芸術祭の作品や地域特有の資源を活用した、瀬戸内の島々の魅力の継続的な情報発信や島の活性化につながるものとする。

イ オフィシャルツアー

芸術祭の開催趣旨やこれまでの取組みの成果について広く理解を深めてもらうため、作品を中心にガイド付きで巡るベーシックツアーや、環境、食、教育など様々なテーマに応じたスペシャルツアーを実施し、来場者の満足度向上とリピーターの確保を図る。また、海外の富裕層に向け、高付加価値化したツアーを実施する。

ウ 島間交流事業

芸術祭の会場となった島の住民が、他の会場の住民と交流できる機会を設けることにより、各地域での地域活性化の取組みや地域資源などについて理解を深めるとともに、住民同士がネットワークを構築し、次回の芸術祭における地域活動の参考としてもらうため、島間交流事業を実施する。

エ 学校連携事業

未来の瀬戸内を担う若者や子どもたちが、地域の魅力や課題に触れるとともに、自分の将来について考える機会を創出するため、香川県教育委員会や香川県内の高等学校等と連携して芸術祭に関する課外活動等を実施する。

オ 企業フォーラム（再掲）

企業が文化活動に取り組む意義等について、有識者の講義や芸術祭会場の視察を通じて、企業経営者などの参加者が知見を深めることを目的として企業フォーラムを開催する。

④ 広報活動

公式ウェブサイト、SNS、パブリシティ等を活用して通年の活動を広く発信するとともに、芸術祭 2025 に向けた機運の醸成を図る。

2 令和5年度収支予算（案）

(1) 瀬戸内国際芸術祭開催事業費

◎ 収入

（単位：千円）

区 分	予算額	備 考
負担金	25,200	
香川県	10,500	
高松市	5,250	
丸亀市	1,050	
坂出市	1,050	
観音寺市	1,050	
三豊市	1,050	
土庄町	1,050	
小豆島町	1,050	
直島町	1,050	
多度津町	1,050	
玉野市	1,050	
福武財団	0	
補助金・助成金	5,000	文化庁
寄付金・協賛金	4,000	企業協賛金
その他	7,000	
前年度繰越金	259,407	
計	① 300,607	

0

◎ 支出

（単位：千円）

区 分	予算額	備 考
計画策定・推進費	15,300	
アートプロジェクト費	59,580	
作品制作費等	46,780	作品制作・公募経費、作品撤去等
イベント運営費	12,800	人材育成事業費等
運営活動費	23,744	
広報活動費	16,594	各種PR経費、HP改修等
会場運営費等	1,500	寄付協賛推進費等
事務局運営費	5,650	
予備費	2,000	
ART SETOUCHI運営費への繰出金	81,778	
計	② 182,402	

◎ 令和5年度収支差額

収支差額(①－②)

118,205千円

（翌年度瀬戸内国際芸術祭開催事業費へ繰越）

(2) ART SETOUCHI 運営費

◎ 収入

(単位：千円)

区 分	予 算 額	備 考
補助金・助成金	34,192	文化庁、観光庁
チケット・グッズ等販売収入	1,180	個別鑑賞料等
芸術祭開催事業費からの繰入金	81,778	
計	① 117,150	

◎ 支出

(単位：千円)

区 分	予 算 額	備 考
作品継続費	55,750	
作品管理費	35,300	継続作品の修繕等
イベント運営費等	20,450	各種イベント等開催費
運営活動費	60,400	
広報活動費	3,700	広報物制作、翻訳等
会場運営費等	56,200	作品公開等業務委託料
事務局運営費	500	
予備費	1,000	
計	② 117,150	

◎ 令和5年度収支差額

収支差額 (①－②)

0 千円